

新病院建設ニュース

平成 28 年春開院

善衆会病院は、50 年先を見据えた医療を提供していきます。その第 1 歩として、平成 28 年には新病院を新築オープンさせます。まずは、この先 10 年の変化に対応すべく、環境に配慮し、高度な医療設備をもとに、新たな地域の診療拠点としての重責を担います。



image

Vol.4 -2015.6.10 発行-

新病院における内科の役割

【新病院に移行した後も、内科の基本的な診療方針に変更はありません】

糖尿病・高血圧などの生活習慣病や呼吸器・循環器・消化器・神経疾患・血液疾患など、内科全般に関して経験豊富な医師が診察いたします。さらに、腎臓病外来を行い、血液透析による腎不全の治療にも力を注いでまいります。

【専門分野にとらわれず、高齢者が抱える多疾患に対応します】

当院の内科常勤医師 4 名は、血液病、老年病、呼吸器疾患、腎疾患、免疫病をそれぞれ専門領域としていますが、全員が専門を含みそれ以外の総合診療を行っています。自分の専門領域にこだわることなく積極的に、広い領域の患者さんの診療にあたっています。

日本が前例のない世界一の高齢化社会へと変化していく中で、高齢者は多疾患を抱え、治療に対する反応も多様になっていることから、「高齢者総合診療」という考え方が必要です。

これは、領域ごとの診断治療を越え、家庭・地域といった環境要因や認知機能を含む全体像をとらえて診断治療にあたっていくという考え方です。高齢でいくつもの病気を併せ持つ方や、体の機能が低下してきた方、受診すべき診療科がわからない方は、まずは当院の内科にご相談ください。

地域の皆様の新病院に対するご期待に応えられる診療内容と新病院にふさわしい設備面の快適性や職員の心と技術の向上を目指しています。



善衆会病院 副院長 内科 谷田部 寛

新病院のデータ

[所在地]	前橋市筑井町 54-1
[階層]	地上 6 階立て
[病床数]	198 床
[敷地面積]	18,270.82 m ²
[延床面積]	13,573.60 m ²
[駐車台数]	600 台



新病院建築進捗状況

4月30日、病院長をはじめ副院長や看護部長・各師長が建築現場の視察を行い、建築現場事務所にて、設計・工事関係者より建築現場の進捗状況説明を受けました。

視察時に低層部外壁タイルの色を、実物モックアップにて検証し決定しました。

(※モックアップとは、原寸大の模型のことです。)

また、建築現場事務所内に病室のモックアップを作成し、細かい仕様の検証を行っています。

5月21日現在、本棟の1階柱配筋やコンクリートの打設などが終了し、2階の躯体工事を行っています。

本体工事開始から5ヶ月が経過し、国道50号線からも病院の立ち上がりがご覧いただけると思います。

【モックアップ（原寸大模型）を作成し細かい仕様を検証しています】



現場事務所内に作成された病室のモックアップ。精巧に再現されています



看護職員が
「ドアの大きさ」
「洗面台の高さ」
「手すりの位置」
「医療ガスの配置」
など、細かい仕様を検証しています

【新病院建築現場を上空から見てみると・・・】



↑平成 26 年 12 月 24 日撮影
整地され、仮囲いが設置されました。



↑平成 27 年 3 月 27 日撮影
西側(写真右側)から、基礎工事のための鉄筋配筋、足場組立を行っています。



←平成 27 年 5 月 21 日撮影
2 階躯体工事進行中。
西側(写真右側)から型枠建込み、
コンクリート打設を行っています。